

## 第1号議案

### 平成22年度事業報告

自 平成22年 4月 1日

至 平成23年 3月31日

#### I 当協会の概況

平成22年度末における当協会の概況は次のとおりである。

##### 1. 会 員

法人正会員	124社
法人賛助会員	27社
個人賛助会員	33名

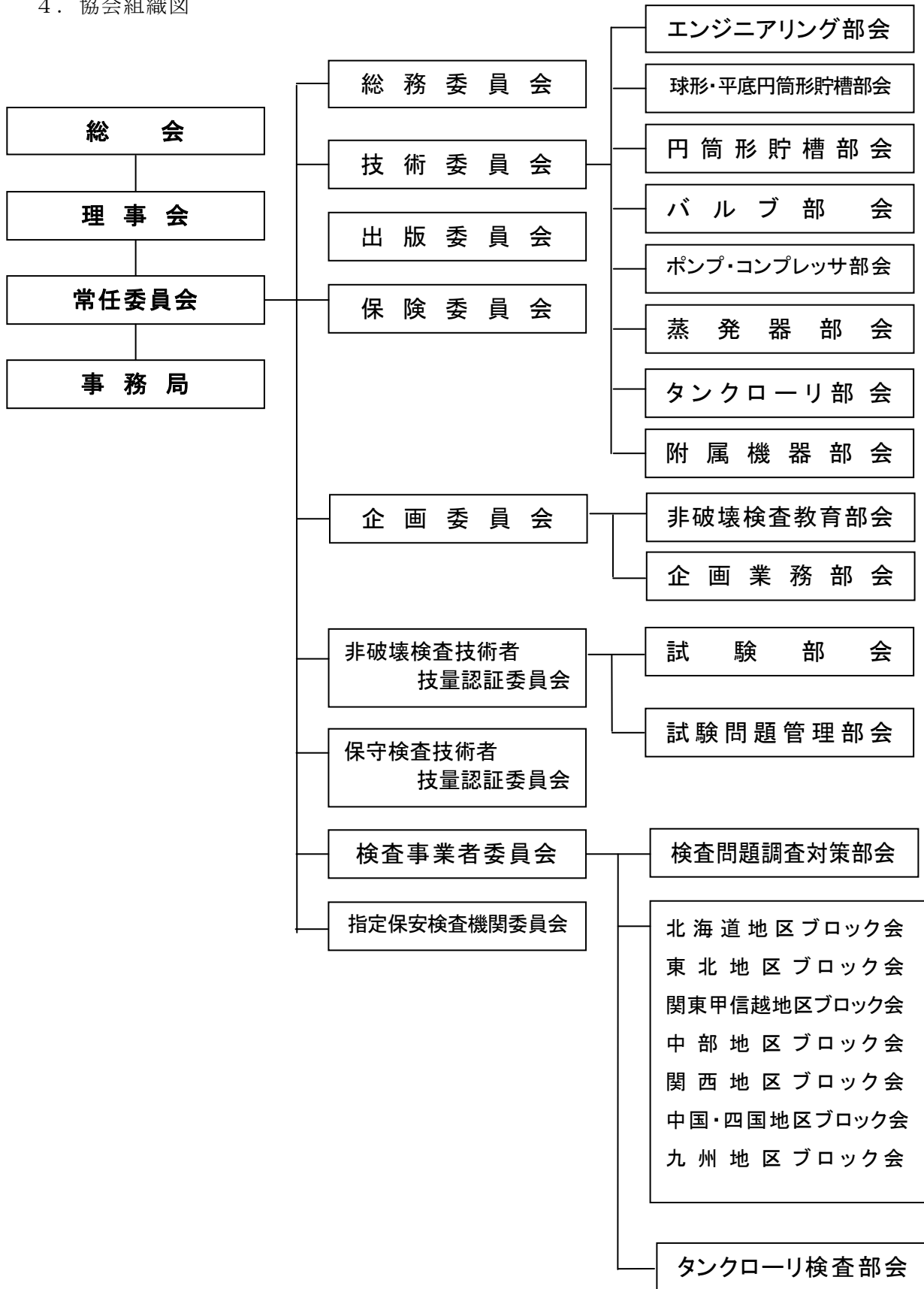
##### 2. 役 員

会 長	1名	顧 問	4名
副 会 長	4名	参 与	2名
専務理事	1名		
理 事	26名		
監 事	2名		

##### 3. 事 務 局

常勤参与	1名
専務理事	1名
事務局員	5名

4. 協会組織図



## II 事業活動の状況

平成22年度における事業活動は以下の通り実施いたしました。

### 1. LPガスプラント等の安全性及びその確認に関する技術等の調査・研究について

- (1) 高圧ガスプラント等の保安検査及び定期自主検査における不具合事項を検査事業者の協力を得て調査し、分析の上公表し事故の再発防止に努めている。
- (2) 民生用バルクローリの生産状況及び全国地区別配備状況を調査し、機関誌及び業界紙にて公表した。
- (3) 平成22年度における高圧ガスプラント及びタンクローリ（民生バルクローリ含む）並びにLPガスバルク供給に関連する事故情報について原子力安全・保安院 保安課及び高圧ガス保安協会の協力を得て機関誌にて公表し、注意を喚起した。
- (4) 平成22年度における都市ガス及びLPガスによる事故概要を消防庁の協力を得て入手し、機関誌で公表した。

### 2. 基準類の改正、発刊及び普及について

#### 2-1. 基準類の改正、発刊

##### (1) 平成22年度改正、発刊

###### ① JLPA 204 LPガスタンクローリ再検査基準

（タンクローリ・移動式製造設備・充てん設備（民生用バルクローリ））

##### (2) 以下の基準類については、継続審議中

###### ① JLPA 209 金属フレキシブルホース基準（審議終了）

###### ② LNGサテライト設備検査技術指針

②-1 第1分冊 日常点検及び定期自主検査（審議終了）

②-2 第2分冊 保安検査実施要領

###### ③ 保安検査実施要領（JLPA 501-2、-3、-4）

・ JLPA 501-2 保安検査実施要領（第1種及び第2種製造設備関係）

・ JLPA 501-3 保安検査実施要領（液化石油ガススタンド）

・ JLPA 501-4 保安検査実施要領（移動式製造設備関係）

###### ④ JLPA 214 ゴムホースアセンブリ基準

・ JLPA 215 ゴムホースアセンブリ取扱基準

###### ⑤ JLPA 501 LPガスプラント検査基準

###### ⑥ LPガスプラント検査技術者必携 第1分冊：JLPA 501 LPガスプラント検査基準の詳解

###### ⑦ JLPA205-2 民生用バルクローリ取扱基準

###### ⑧ JLPA 203 LPガスタンクローリ・移動式製造設備の製造及び標準仕様基準

（タンクローリ・移動式製造設備・充てん設備（民生用バルクローリ））

・ JLPA 203 タンクローリ製造基準

- ・ JLPA 203-2 移動式製造設備製造基準
- ・ JLPA 203-3 タンクローリ標準仕様基準
- ・ JLPA 203-4 タンクトレーラ標準仕様基準

## 2-2. 基準等の普及活動

### (1) 保安検査技術研修会の開催

平成17年3月31日付にて告示化され、施行された「保安検査基準 (KHKS)」の周知を図るため、平成22年度も「保安検査実施要領 JLPA 501-2」等をテキストとして下記日程にて日本LPガス団体協議会(以下 日団協 という。)共催の下、製造事業者向け研修会を開催した。

開催日	場所	受講者		
		一般	都道府県関係者	合計
平成22年5月13日	東京会場 (品川区立総合区民会館)	120名	23名	143名
平成22年5月26日	大阪会場 (大阪科学技術センター)	77名	20名	97名
合計		197名	43名	240名

### (2) 保安検査実務者研修会の開催

製造事業所保安管理者を対象に、平成21年度に引き続き「LPガスバルブメンテナンス要領書 (2006年改正版)」及び「LPガスプラント検査技術者必携 (第5分冊) (2006年改正版)」をテキストとして、日団協共催の下、原子力安全・保安院の講演とともに指定検査機関連絡協議会の協力を得て、機器類 (バルブ、安全弁、ポンプ、コンプレッサー等)のカットモデルによる研修会を下記のとおり開催した。

開催日	場所	受講者		
		一般	都道府県関係者	合計
平成22年11月11日	東京会場 (東京都立産業貿易センター)	59名	13名	72名
平成22年11月2日	大阪会場 (大阪科学技術センター)	55名	16名	71名
合計		114名	29名	143名

### (3) LPガスバルク供給安全普及のためのセミナーの開催(第12回)

LPガスバルク供給事業者を対象に、平成21年度に引き続き日団協共催の下、原子力安全・保安院 液化石油ガス保安課、エルピーガス協会の協力を得て、「バルク貯槽及び附属機器等の保全マニュアル」等をテキストとしてバルク貯槽の保全方法、バルク貯槽の附属品(実機モデル)の取扱について解説した。

開催日	場所	受講者		
		一般	都道府県関係者	合計
平成22年10月15日	東京会場（東京都立産業貿易センター）	59名	13名	72名
平成22年10月20日	大阪会場（大阪科学技術センター）	55名	16名	71名
合計		114名	29名	143名

### 3. LPガスプラント等の安全性の確保に従事する者の教育について

(1) 高圧ガスプラント検査技術者(新人)講習会及び学科試験を下記のとおり実施した。

開催日	場所	受講者
平成22年11月29日～11月30日	神奈川会場（日本溶接技術センター）	50名

(2) 「高圧ガスプラント検査技術者講習会（A種検査員資格更新）」を以下のとおり実施した。特に、平成22年度は開催地区近隣の都道府県保安担当課にもご案内し、保守検査の要点とともに高圧ガス保安協会認定検査事業者の教育制度等について解説した。

開催日	場所	受講者
平成23年2月10日	神奈川会場（日本溶接技術センター）	79名
平成23年2月28日	大阪会場（大阪科学技術センター）	46名
平成23年3月2日	札幌会場（北海道エア・ウォーター(株) 札幌研修センター）	56名
平成23年3月8日	岡山会場（岡山総合福祉会館）	54名
合計		235名

(3) 指定保安検査機関のための保安検査研修会

指定保安検査機関の統括保安検査員及び保安検査員を対象に、法令解釈及びコンプライアンスに関する保安検査技術研修会を開催した。

開催日	場所	受講者
平成23年2月3日	大阪会場（大阪科学技術センター）	49名
平成23年2月22日	東京会場（社会文化会館）	42名
合計		91名

(4) 「ガスプラント非破壊検査技術講習会（レベル1）」を以下のとおり開催した。

開催日	場所	受講者
平成22年6月15日 ～6月18日	神奈川会場 (日本溶接技術センター)	検査基準解説 (6/15) 16名 MY 1 (6/16) 20名 UM 1 (6/17) 22名 PD 1 (6/18) 19名

(5) 「ガスプラント非破壊検査技術講習会（レベル2）」を以下のとおり開催した。

開催日	場所	受講者
平成22年11月4日 ～11月5日	神奈川会場 (日本溶接技術センター)	MY 2 学科 (11/4) 16名 PD 2 学科 (11/4) 13名 レベル2 実技 (11/5) 18名

(6) 「ガスプラント非破壊検査技術者資格試験 実技試験対策講習会」を以下のとおり開催した。

開催日	場所	受講者
平成22年9月2日	神奈川会場 (日本溶接技術センター)	MY 1 19名 PD 1 14名 UM 1 16名 レベル2 12名
平成23年3月10日	神奈川会場 (日本溶接技術センター)	MY 1 6名 PD 1 4名 UM 1 3名 レベル2 22名

- (7) JIS Z 2305（非破壊試験－技術者の資格及び認証）による「ガスプラント非破壊検査技術者資格試験」の一次試験（筆記試験）及び二次試験（実技試験）を以下のとおり開催した。

	内 容	開催日	実 施 場 所	科目	受験者	合格者
平成二十二年 度第一回	一次試験	平成22年7月8日	神奈川会場 （日本溶接技術センター） 大阪会場 （大阪科学技術センター）	MY 1	29名	20名
				PD 1	24名	18名
				UM 1	30名	20名
				MY 2	10名	10名
	二次試験	平成22年9月3日	日本溶接技術センター	PD 2	7名	4名
				MY 1	21名	17名
				PD 1	20名	14名
				UM 1	20名	19名
平成二十二年 度第二回	一次試験	平成22年12月3日	神奈川会場 （日本溶接技術センター） 大阪会場 （大阪科学技術センター）	MY 2	17名	7名
				PD 2	8名	1名
				MY 1	10名	7名
				PD 1	8名	8名
	二次試験	平成23年3月11日	日本溶接技術センター	UM 1	12名	7名
				MY 2	20名	17名
				PD 2	25名	17名
				MY 1	10名	7名
				PD 1	12名	6名
				UM 1	7名	7名
				MY 2	24名	14名
				PD 2	18名	12名

#### 4. LPガスプラント等の安全性の確保に関する施策の策定及び推進に対する協力について

##### 4-1. 経済産業省 原子力安全・保安院関係

- (1) 経済産業省 総合資源エネルギー調査会 高圧ガス及び火薬類分科会 高圧ガス部会に対し、当協会より委員を派遣し、意見具申を行った
- (2) 原子力安全・保安院 保安課主催の都道府県保安担当者研修会に対し、講師を派遣し、当協会発刊のJLPA基準をテキストとして講演を行った。（毎年2月）
- (3) 原子力安全・保安院 液化石油ガス保安課主催の都道府県担当者研修会に対し講師を派遣し、「LPガスバルク供給における安全対策」に関し講演を行った。
- (4) その他保安院からの事故情報等に対し、当協会機関誌「LPガスプラント」に掲載する等して、事故防止のため広く周知を行った。

##### 4-2. 高圧ガス保安協会関係

- (1) 評議員会、技術委員会、各規格委員会に対し当協会代表または当協会会員より委員を派遣し、協会運営、その他KHK基準策定及び改正に対し意見具申を行ない、協会活動に協力を行った。
- (2) LPガス関係団体20団体で構成する「LPガス安全委員会」及び「消費者保安

啓蒙委員会」活動に対し、委員を派遣すると共に分担金を負担し、L P ガス消費者保安活動に協力を行った。

- (3) L P ガスタンクローリ事故防止委員会に委員を派遣すると共に分担金も負担し、J L P A タンクローリ検査部会が中心となり、「L P ガスタンクローリ点検要領」の改正への協力とタンクローリ一斉点検(毎年7月)への意見具申を行い、「L P ガスタンクローリ点検要領」の改正及び事故防止活動に協力した。
- (4) 高圧ガス保安協会認定検査事業者制度に基づく認定審査委員会に委員を派遣し、当協会として意見具申を行った。

#### 4-3. 日本L P ガス団体協議会(日団協)関係

- (1) 理事会、及び各委員会(政策、需要開発、防災、広報、保安)並びに部会(高圧、液石)にそれぞれ代表を派遣し、業界発展のため積極的に支援している。なお、当協会の本務である保安啓蒙活動に対しては、下記の事項について積極的に貢献した。
  - ① 日団協技術基準の改廃に伴い、改正作業に積極的に協力するとともに、J L P A 技術基準の活用を提案し改正を進めた。
  - ② 広報委員会に対し、J L P A 機関誌「L P ガスプラント」の活用方法について提案した。
- (2) 補助、受託事業に対し、当協会に関連する分野(災害バルク、配送合理化)に関しては委員を派遣する等、積極的に協力支援した。

#### 4-4. その他団体関係

- (1) 日本L P ガス協会に対し、ディーゼル代替L P ガス自動車普及基盤整備事業審査委員会に委員を派遣して協力を行った。
- (2) 資格相互認証関係にある(社)日本非破壊検査協会に対しては、各種委員会に対し委員を派遣し、友好関係の強化に努めた。
- (3) 一般社団法人日本ガス協会及び一般社団法人日本産業・医療ガス協会とは、L N G タンクローリ安全技術指針を策定するなど、友好関係を強化した。
- (4) (社)日本高圧力技術協会等の技術支援協力要請に対し、会員の協力を得て積極的に参加し協力した。
- (5) 一般社団法人DME普及促進委員会からの要請に対し、DME自動車用燃料充填設備等の高圧ガスに関する技術基準案検討委員会に委員を派遣して協力を行った。
- (6) (社)日本計量機器工業連合会からの要請に対し、液化石油ガスメーターJ I S 原案作成委員会に委員を派遣して協力を行った。

## 5. その他

当協会推薦により、次の各氏が受章（受賞）された。

### (1) 高圧ガス保安協会会長表彰

#### ① 保安功労者表彰

小 椋 保 昭 （川崎重工業株式会社）

#### ② 保安功績者表彰

木 村 孝 行 （株式会社サンプラント）

新 谷 賢 一 （株式会社宮入バルブ製作所）

中 村 哲 朗 （日本海産業株式会社）

三 富 輝 彦 （カグラエンジニアリング株式会社）

八 島 巧 雄 （斎藤高圧株式会社）

### (2) LPガス安全委員会表彰

#### ① LPガス安全委員長特別表彰 模範保安活動表彰

鈴 木 通 弘 （陽品ガスエンジニアリング㈱）

西 野 博 夫 （伊藤工機㈱）

## 6. 会 議

### (1) 総 会

#### 第32回 通常総会

平成22年5月20日（木）14時30分、日本工業倶楽部2階大会堂において開催し、次の議案を審議し、いずれも原案通り可決された。

第1号議案 平成21年度事業報告承認の件

第2号議案 平成21年度決算報告承認の件

第3号議案 平成22年度事業計画(案)承認の件

第4号議案 平成22年度予算(案)承認の件

第5号議案 任期途中における理事・監事選任(案)の件

## (2) 理事会

回及び日時	主要決定事項
第119回 平成22年4月22日（木） 14:00～17:00 （航空会館 会議室）	(1)平成21年度事業報告及び決算報告 (2)平成22年度事業計画(案)及び事業予算(案) (3)役員人事及び事務局体制について報告 (4)その他（公益法人制度改革に関する説明他）
第120回 平成22年5月20日（木） 13:30～14:20 （日本工業倶楽部）	(1) 第32回通常総会議案内容について
第121回 平成22年11月26日（金） 15:30～17:00 （銀行倶楽部）	(1) 平成22年度上半期の決算報告及び下半期の予測について (2) 公益法人制度改革への対応について (3) 各委員会報告

## (3) 検査担当理事会

回及び日時	主要決定事項
平成22年4月22日（火） 13:00～15:00 （航空会館）	(1) KHK 認定検査事業者に関する件 (2) 指定検査機関に関する件 (3) 省令等改正の概要について (4) 経済産業省原子力安全・保安院 保安課関連 (5) 高圧ガス保安協会関連
平成22年11月25日（木） 13:00～15:00 （銀行倶楽部）	(1) KHK 認定検査事業者に関する件 (2) 第4回非破壊試験競技大会の開催について (3) 検査賠償責任保険の改正に関する件 (4) 高圧ガスプラント検査技術者講習（A種更新講習）の開催について
平成23年2月1日（火） 13:30～16:30 （JLPA 会議室）	(1) 検査賠償責任保険の改正に伴う広報に関する件 (2) KHK 認定検査事業者に関する件 (3) 検査員証の発行手続き改正に関する件 (4) 平成22年度非破壊試験競技大会開催報告に関する件

以上